

平成20年度 9月補正予算の概要(教育委員会所管分)

単位:千円

県立学校校舎整備事業費 16,052 (1,406,026)

21年度実施予定である県立学校校舎改築工事の設計委託等に要する経費

(学校名) (対象建物) (面積) (構造)
野 村 本館・普通教棟 2,876m² RC(木質)造 4F

◎ 今治養護学校新居浜分校高等部設置整備事業費 69,946

今治養護学校新居浜分校に高等部を開設するための経費

1 設置日及び定員 21年4月高等部設置 48人(8人×2学級×3学年)

2 整備内容

(1)建物改修工事

内 容	面 積
本館改修工事	475m ²
付属舎改修工事	99m ²
渡り廊下新築工事	73m ²

(2)X線・レントゲン装置撤去

(3)グラウンド整備工事

内 容	面 積
造成工事	3,500m ²

(4)スクールバス購入 (定員35人)

(5)教材等備品整備

(6)食器及び用具類

◎ 高校生ものづくり人材育成推進事業費 9,989

高校生に勤労観や職業観を身に付けさせるとともに、ものづくり技術を継承する専門的職業人の育成を図るため、専門高校と地域産業界が連携して人材の育成を行う。

1 連携地区・実践校及び連携団体

地 区 名	実 践 校	学 科	連 携 団 体
新居浜地区	新居浜工業高校	機械科、電子機械科	新居浜機械産業協同組合
西条地区	東予高校	機械科、電気システム科	周桑鉄工業協同組合
今治地区	今治工業高校	機械科、電子機械科	今治地域造船技術センター
松山地区	松山工業高校	機械科、電子機械科	愛媛機械工業協同組合

2 ものづくり人材育成推進委員会の設置

3 各学校(地区)の研究実践

(1)工業教育活性化委員会の設置

(2)企業見学、インターンシップ、デュアルシステム、熟練技術者による実技指導、企業との共同研究

(3)スキルアップ研修(教員対象)

(4)ものづくり講座、成果発表会、副教材の作成等

(国 10/10)

○ えひめ学校支援地域本部推進事業費 8,300 (16,300)

地域教育力の低下に対応するため、地域住民が多様な形態で小中学校の教育活動を支援し、学校と地域の連携体制を構築する。

1 市町事業

(1)実行委員会の設置 (当初4市町 → 補正後8市町)

・学校支援地域本部のあり方や成果の検証

・コーディネーター等人材養成講座の開催

・学校支援ボランティアへの研修 等

(2)学校支援地域本部の設置 (当初8本部 → 補正後24本部)

・地域教育協議会の設置

・地域コーディネーターによるボランティアの募集、調整

2 県事業

えひめ学校支援運営協議会の設置

・学校支援活動促進セミナーの開催 等

(国 10/10)

- 県内遺跡発掘調査費 121,943 (125,529)
 四国横断自動車道建設等に伴う土木工事予定地での埋蔵文化財の発掘調査等を実施する。

実施箇所	面積
川之江三島バイパス	上分乗安遺跡 350m ²
	下石床遺跡 2,030m ²
	宮ノ上遺跡 800m ²
今治道路	下経田遺跡 12,400m ²
	経田遺跡 2,260m ²
松山インター関連	北井門遺跡 700m ²
四国横断自動車道	中津倉城跡 100m ²
	岩倉城跡 1,200m ²

(国 10/10)

- ◎ 総合科学博物館等改修整備事業費 43,537
 公の施設のあり方の見直し方針に沿って、県立博物館を総合科学博物館へ統合するための改修等を行うとともに、県立博物館移転後の空きスペースを図書館として改修整備する。

1 県立博物館を総合科学博物館へ統合

- (1) 4階自然館の改修 (現在の展示に加えて、913点を新たに展示)
 (2) 新たな収蔵スペースの確保 (1階図書室の一部、生涯学習棟2階第2・3研修室)
 (3) 期間: 20年10月～21年2月

2 博物館移転後の改修

- (1) 郷土・俳諧資料フロアの整備(4階) (公開資料数の増 6,600冊 → 35,500冊)
 (2) 書庫の拡大(4・5階) (保存可能冊数の増 618,000冊 → 784,000冊)
 (3) 期間: 20年12月～21年3月

- ◎ 子どもの体力向上推進フォーラム開催事業費 2,503
 子どもの体力向上や肥満などの生活習慣病の増加に対応するため、学校・家庭・地域による連携した取り組みが一層促進されることを目的として、フォーラムを開催する。

- 1 開催場所 県下3会場
 2 開催時期 20年11月～12月(東・中・南予各1回)
 3 内 容 ・基調講演
 ・実践事例発表
 ・シンポジウム

(国10/10)

[注意]

- ◎は新規事業
 ○は大幅増
 ()は累計額